

# J-209 メンテナンススタンドハイグレード 組立手順

このたびはJ-209をお買い上げいただきありがとうございます。  
組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

箱に入っているパーツを確認します。(7は組まれています)

NO	品番	品名	数
1	J-209-A	メンテナンススタンド用フレーム1200mm	2
2	J-209-B	メンテナンススタンド用フレーム800mm Uボルト付	2
3	J-209-C	メンテナンススタンド用受高さ調整フレーム95mm	4
4	J-209-D	メンテナンススタンド用レールパイプφ50assy1340mm	2
5	IB080070AB	70角ブラケットB4穴70mm(旧品番J-209-E)	4
6	AB15102	AB用 キャスターベース自在用(160×106)	8
7	P19-05	Uボルト 8x80	2
8	JL100-80	SUSエスカン SAP-8	1
9	JL407	J-209用フック	2
10	K160	J-209用キャスター413S-RB125 自在スッパ付	4
11	AB15106	ツブレ止めカラー(キャスタープレート用)	4
	P04-10-100	SUS六角ボルト10-100	16
	P06-10	SUSワッシャーM10	32
	P05-10	SUSスプリングワッシャーM10	16
	P07-10	SUSナットM10	16
	P04-8-90	SUS六角ボルト8-90	16
	P04-8-95	SUS六角ボルト8-95	4
	P06-08	SUSワッシャーM8	40
	P05-08	SUSスプリングワッシャーM8	20
	P07-08	SUSナットM8	20



コチラのQRコードより  
弊社通信販売にて  
交換部品販売しております。

■使用する工具  
◎スパナ13番&17番

■ 組立をする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。  
各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

## ■ 組立手順

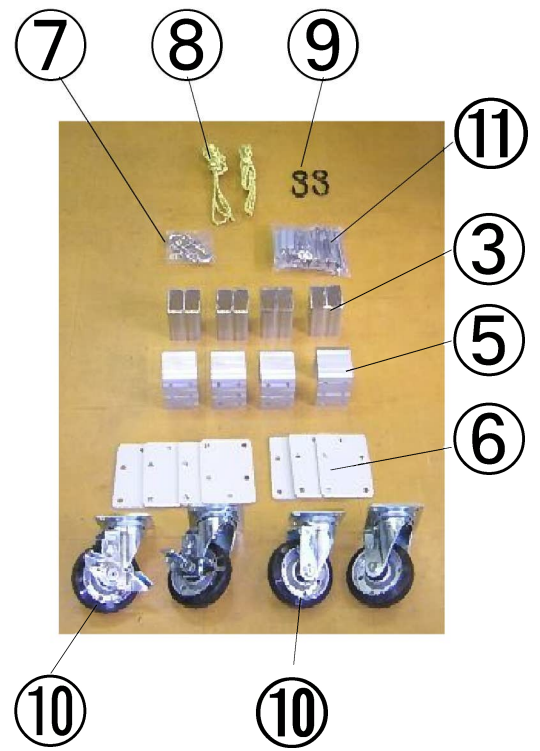
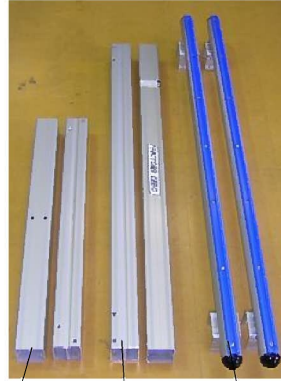
- A. フレームと左右フレームを90度に合わせます(800mmフレームが内側)  
合わせた角にキャスタープレートをフレームの穴に合わせ上からと下からではさみます。  
上からM10ワッシャー、ボルト10-100を差します、この時フレームにかからない内側の穴にはつぶれ止めパイプカラーを入れてください。  
キャスター取り付け用の4点の穴の他に1ヶ所穴がありますがこれはワッシャーM8、ボルトM8-95を使用します。(写真参照)  
下側からキャスターを取り付けM10ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて仮締めします  
同様に残りの3ヶ所コーナーも組み立て最後にナットを締めてください。
- B. 四角に組まれたフレームに4穴ブラケットを下から差込み、上には95mmフレームを位置しボルトM8類で固定します。  
そこへレールパイプを上から差込み、レールパイプの穴と95mmフレームの穴を合わせM8ワッシャー、ボルト8-90を差し  
反対側からM8ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて締めます。  
最後に800mmフレーム中央にUボルトを取り付けてそこにロープ&フックを結び完成です。

※使用の際は必ずすべり落ち防止のロープ&フックを艇の前後に架けてください。

組立等、不具合が生じた場合はお買い求めの販売店様へご連絡ください。

## ■ 使用上の注意

- ご使用前必ずボルト&ネジ類、ベルトのゆるみがないか確認してください、ゆるんだまま使用しますと事故破損の原因になります。
- 高い位置からの乗せ移し(トラック荷台等)は危険です、スタンドの破損の原因になります。
- ジェットを真上からドスン!と乗せると破損します、必ずゆっくり降ろすか前後からスライドさせて乗せてください。
- ジェットの上に人を乗せての積載は破損しますのでおやめください。
- 使用の際は必ずすべり落ち防止のロープ&フックを艇の前後に架けてください。
- 適応艇以外の艇は乗せないでください、破損の原因になります。(PWC3人乗りまで、または和船18ftまで)
- 転覆等で水が浸入した艇は予想以上に重量が増えていますので必ず排水してから乗せてください。
- 極端にすり減ったレールでのご使用は船体が傷つく恐れがあります、必要に応じて交換してください。
- 万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。



## 完成写真

●3人乗までのPWCまたは和船18ftまで以外は積載しないでください！破損の原因になります。  
 その他使用上の注意をご確認ください。

※ここはM8サイズ

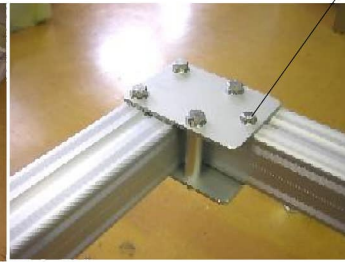
A



1200mmフレームと800mmフレームを写真のように合わせます。



合わせた角にキャスターベースを上からと下からではさみます。  
 ※ベースには裏表がありますので注意してください。間違えるとM8の穴がズレます！



各穴にM10ワッシャー、ボルト10-100を差込みます。フレームが無い内側の穴にはつぶれ止パイプカラーを入れて下さい。1ヶ所だけM8ワッシャー、ボルトM8-95を使用します。



キャスターベースの下にキャスターを付けM10ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて仮締めし、その他のコーナーも同様に組みます。

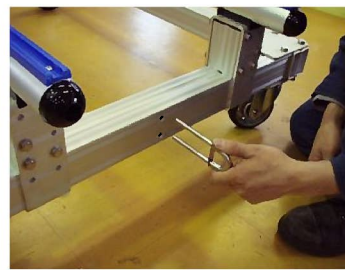
B



800mmフレームに⑤番の4穴ブラケットを下から差込み上に③番の95mmフレームを位置しワッシャーM8、ボルトM8-90を差しワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて固定します。



レールパイプの穴と95mmフレームの穴を合わせM8ワッシャー、ボルトM8-90を差し反対側からM8ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて締めます。



800mmフレームの中央の穴に⑦番のUボルトを取付ます。

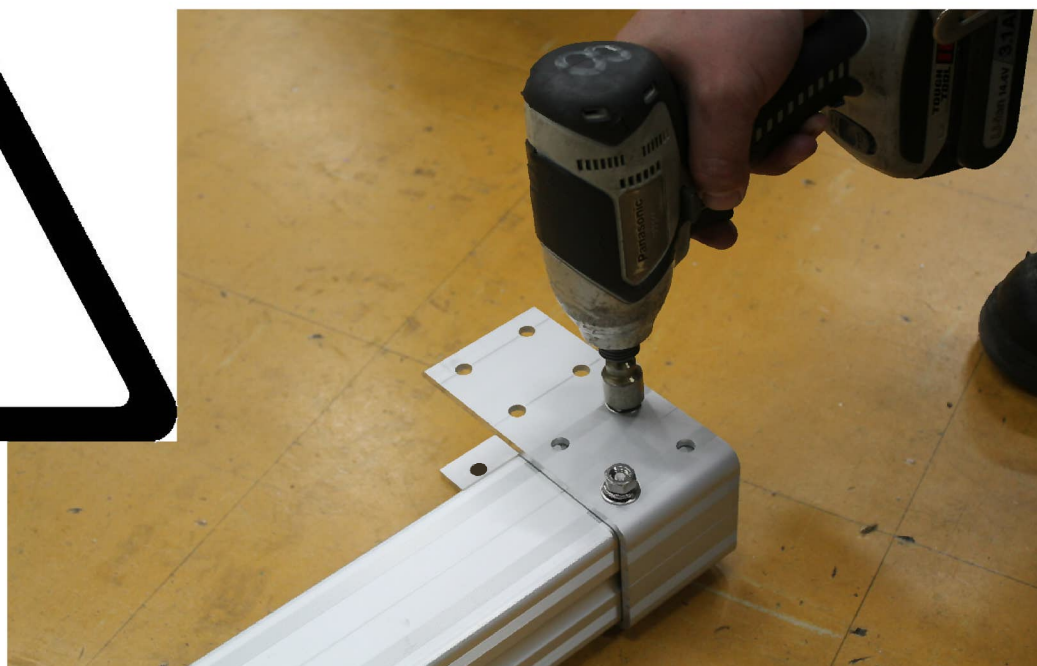


最後にロープにフックを結び、それをUボルトへ結び完成です。  
 ※使用の際は必ずすべり落ち防止のロープ&フックを艇の前後に掛けてください。

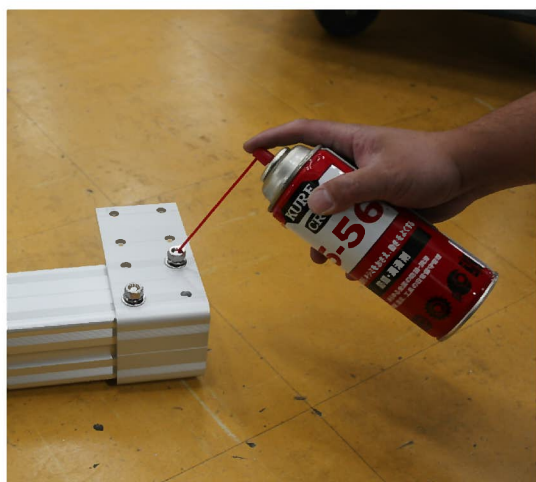
## <<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。  
また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



# 急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。